

【科目名】発達障害作業療法治療学		【担当教員】田中 善信、佐々木 清子 (メールアドレス) y.tanaka@nur05.onmicrosoft.com
【授業区分】専門分野 (作業療法治療学)	【授業コード】 4-23-0905-0-1	(オフィスアワー) 【水曜日】13:00 ~ 18:00 【月曜日】9:00 ~ 12:00
【開講時期】3年前期	【選択必修】必修	
【単位数】1	【コマ数】30	
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害作業療法（講義）を既に習得しておくことが前提です。</li> <li>講義及び、小グループ編成によるディスカッション、発表を行いながら授業を進める。</li> </ul> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害作業療法（講義）の内容を復習しておくこと</li> <li>講義で配布する資料の予備は保管しません。出席者からコピーしてもらうこと。</li> <li>講義中の板書、スライドの携帯電話での撮影は禁止する。</li> </ul>		
<p>【講義概要】</p> <p>(目的)</p> <p>肢体不自由児(脳性まひなど)の運動障害や発達障害(自閉症やアスペルガーなど)の認知の障害の評価結果から、治療プログラム立案までのプロセスについて学修することを目的とする。</p> <p>(方法)</p> <p>教科書と配布資料、ビデオ教材などによる身体面・認知面における発達障害の演習が中心となる。</p>		
<p>【一般教育目標(GIO)】</p> <p>肢体不自由児(脳性まひなど)の運動障害の評価結果から治療プログラム立案までのプロセスの概要を述べることができる。</p> <p>発達障害(自閉症やアスペルガーなど)の評価結果から治療プログラム立案までのプロセスの概要を述べることができる。</p> <p>家族援助、就学、就労支援の概要を述べることができる。</p> <p>【行動目標(SBO)】</p> <p>肢体不自由児(脳性まひなど)の運動障害の評価結果から治療プログラム立案までのプロセスを演習し習得する。</p> <p>発達障害(自閉症やアスペルガーなど)のの評価結果から治療プログラム立案までのプロセスを演習し習得する。</p>		
<p>【教科書・リザーブドブック】</p> <p>③ 岩崎清隆「発達障害の作業療法 基礎編 第2版」三輪書店 2015年</p> <p>④ 岩崎清隆「発達障害の作業療法 実践編 第2版」三輪書店 2015年</p>		

平成 26～28 年度入学者用

⑤ 佐藤剛「みんなの感覚統合-その理論と実践」パシフィックサプライ株式会社									
【参考書】									
・ 適宜提示、配布をする。									
【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
・ 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。									
・ 定期試験、小テスト、プレゼン、レポートなどにより総合的に判断する。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		50	20	15	15				100点
評 価 指 標	取り込む力・知識	25	20	5	5				55
	思考・推論・創造の力	25		10	5				40
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢				5				5
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法			学修課題(予習・復習)			時 間 (分)	
1	コースオリエンテーション 発達障害の作業療法プロセス①	講義			教科書①「第Ⅲ章作業療法 というアプローチ」、 教科書②「第Ⅲ章作業療法 における治療」を読んでお くこと。			60	
2	発達障害の作業療法プロセス②	講義			教科書①「第Ⅲ章作業療法 というアプローチ」、 教科書②「第Ⅲ章作業療法 における治療」を読んでお くこと。			60	
3	発達障害領域の作業療法を支える基礎知 識の統合① (定型発達:運動発達全般)	講義			教科書①「第Ⅶ章発達障害 の作業療法の基礎となる知 識」を読むこと。 ・発達障害作業療法(講義) で作成したレポートを持参 すること。			60	
4	発達障害領域の作業療法を支える基礎知 識の統合② (定型発達:認知機能、心理社会的機能)	講義			教科書①「第Ⅶ章発達障害 の作業療法の基礎となる知 識」を読むこと。 ・発達障害作業療法(講義) で作成したレポートを持参 すること。			60	
5	遊びの発達の意義① (感覚運動遊び)	講義			教科書①「第Ⅷ章発達障害 の作業療法の基礎となる 手段-遊び」を読んでおく			60	

平成 26～28 年度入学者用

			こと	
6	遊びの発達の意義② (操作的遊び・受容的遊び・対人的遊び)	講義	教科書①「第Ⅷ章発達障害の作業療法の基礎となる手段-遊び」を読んでおくこと	60
7	発達障害と支援機器①	講義 (伊藤)		60
8	発達障害と支援機器②	講義 (伊藤)		60
9	感覚統合理論① (理論と実践について)	講義	教科書③ (p5-42) を読んでおくこと。 《小テスト (予習)》 感覚統合の内容について出題する。	60
10	感覚統合理論② (遊具の体験)	演習	教科書③ (p45-86) を読んでおくこと。	60
11	感覚統合理論③ (遊具を使った遊びを考える)	演習	《課題》 ①前庭感覚、②固有受容覚、③触覚をテーマに遊具を組み合わせ、アプローチをする方法を考える。 (※詳細は後日提示する) 《小テスト (復習)》 遊具に関する内容について出題する。	60
12	感覚統合理論④ (遊具を使った遊びを考える)	発表	・内容：第 11 回で考えた遊びをプレゼンする。 ・発表形式：課題用紙と実演によるプレゼン ・発表時間：10 分 (質疑応答 2 分) ・提出物：課題用紙 ・提出期限：後日提示	60
13	子どもの「自立」を支援する① (姿勢と移動の評価と支援方法)	講義・演習	教科書②「第Ⅳ章生存と健康生活への支援」における関連箇所を読んでおく。	60
14	子どもの「自立」を支援する② (姿勢と移動の評価と支援方法)	講義・演習	教科書②「第Ⅳ章生存と健康生活への支援」における関連箇所を読んでおく。 《小テスト (復習)》 第 13・14 回の内容に関して講義終了前に実施する。	60
15	子どもの「自立」を支援する③ (「食べる」: 摂食嚥下評価と支援方法)	講義・演習	教科書②「第Ⅳ章生存と健康生活への支援」における関連箇所を読んでおく。	60
16	子どもの「自立」を支援する④ (「食べる」: 摂食嚥下評価と支援方法)	講義・演習	教科書②「第Ⅳ章生存と健康生活への支援」における	60

平成 26～28 年度入学者用

			関連箇所を読んでおく。 《小テスト（復習）》 第 15・16 回の内容に関して講義終了前に実施する。	
17	子どもの「自立」を支援する⑤ (更衣の評価と支援方法)	講義・演習	教科書②「第 V 章生活の自立の支援」における関連箇所を読んでおくこと	60
18	子どもの「自立」を支援する⑥ (排泄の評価と支援方法)	講義・演習	教科書②「第 V 章生活の自立の支援」における関連箇所を読んでおく。 《小テスト（復習）》 第 17・18 回の内容に関して講義終了前に実施する。	60
19	脳性麻痺児の評価と介入① (臨床場面の実際)	講義 (佐々木)	発達障害作業療法 (講義) の資料を復習しておくこと。	60
20	脳性麻痺児の評価と介入② (臨床場面の実際)	講義 (佐々木)	発達障害作業療法 (講義) の資料を復習しておくこと。	60
21	脳性麻痺児の評価と介入③ (臨床場面の実際)	講義 (佐々木)	発達障害作業療法 (講義) の資料を復習しておくこと。	60
22	発達障害児の作業療法① (自閉症スペクトラム障害の評価と介入)	講義・演習	《課題》 ①提示した課題の文献と ②テーマに沿って検索した文献を 2 つ要約し、レポートとして提出する。 提出期限：第 21 回終了後 《小テスト（予習）》 自閉症スペクトラム障害の基礎的な内容について出題する。	60
23	発達障害児の作業療法② (自閉症スペクトラム障害の評価と介入)	講義・演習	前回の復習をしておくこと。	60
24	発達障害児の作業療法③ (AD/HD 児の評価と介入)	講義・演習	《課題》 ①提示した課題の文献と ②テーマに沿って検索した文献を 2 つ要約し、レポートとして提出する。 提出期限：第 23 回終了後 《小テスト（予習）》 AD/HD の基礎的な内容について出題する。	60
25	発達障害児の作業療法④ (学習障害児の評価と介入)	講義・演習	《課題》 ①提示した課題の文献と ②テーマに沿って検索した文献を 2 つ要約し、レポートとして提出する。 提出期限：第 24 回終了後 《小テスト（予習）》	60

平成 26～28 年度入学者用

			学習障害の基礎的な内容について出題する。	
26	難病(筋ジストロフィー等)の作業療法の実際	講義(佐々木)	発達障害作業療法(講義)の資料を復習しておくこと。	60
27	知的障害児の作業療法の実際	講義(佐々木)	発達障害作業療法(講義)の資料を復習しておくこと。	60
28	重症心身障害児の作業療法の実際	講義(佐々木)	発達障害作業療法(講義)の資料を復習しておくこと。	60
29	母親とその家族を支援する① (子育てを支える作業療法)	講義・演習	教科書①「第IV章子育ての援助としての作業療法」を読んでおくこと。	60
30	母親とその家族を支援する② (子育てを支える作業療法)	講義・演習	《課題》 母親の障害受容に関する文献を検索し、要約をレポートにまとめ提出する。	60

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。